**薩英戦争砲台跡**

海岸沿いの根占町の近くにあるこの跡地には、かつて錦江湾を見下ろす砲台の台場がありました。最初は、海岸の60メートルに沿って建てられた高さ3メートル、幅4メートルの簡単な壁でした。しかし、1862年の生麦事件（薩摩藩（現在の鹿児島）の藩主の家族が横浜で英国人との口論になった後、英国側の補償要求に応えなかった）の後、台場は約400人の職人によって急速に拡張されました。この事件は1863年の薩英戦争を引き起こしましたが、この砲台が戦争中に使われることはありませんでした。